

こまがた たより

社会福祉法人 昭徳会

基本理念 しあわせ
「幸福」

第35号 令和5年10月発行

基本方針

1. ひとりひとりに、思いやりの心を持って接します
1. ひとりひとりを尊重し、その人に合った支援、援助をします
1. ひとりひとりを大切に、まごころで接します
1. 私たちは、全ての人の幸福を目指し、たゆみなく援助技術の向上に努めます
1. 私たちは、お互いに助け合い、よりよい生活ができるよう努めます

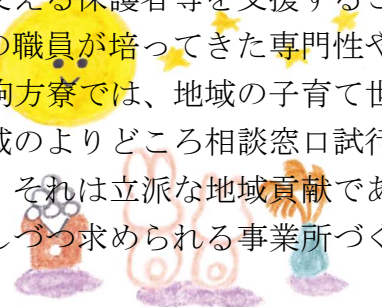


よりどころ

施設長 濱田 光 男

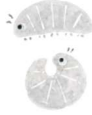
『2022年度に全国の児童相談所が子どもの虐待について受けた相談は、21万9170件(速報値)で過去最多だった。32年連続で増加し、前年度より5.5%(1万1510件)増えた』(R5.9.8/朝日新聞)との記事を拝読しました。こうした背景からか、本年4月に発足した子ども家庭庁の令和6年度予算概算要求は48,885億円(前年度比781億円増)であり、令和4年度比では2,014億円増にもなります。このような報道に触れると、少子高齢社会に向けて予算は年々確保される一方、子どもを産み育てていく状況はどこまで好転しているのか…と、疑問を感じざるを得ません。ある報道では“子どもを持つことは贅沢”とし、子育てを諦めざるを得ないZ世代の切実さを伝えていました。

私たちが子育て世帯にできることは何だろう…と考えたとき、今更ながら、予防的支援の一環として社会福祉法人による公益的取組の大切さを感じています。簡単では無いのですが、虐待等に陥る前段階で子育て世帯の困り感等を早期発見・早期対応することができれば、子ども自身の安心・安全に繋がっていきます。子どもの生活を支える保護者等を支援すること無しに、子どもの安心・安全は成立し得ないとすれば、個々の職員が培ってきた専門性や子どもを育てていく施設機能は、地域の社会資源と言えます。駒方寮では、地域の子育て世帯等の困り感を軽減していく一助になれるよう、10月より【地域のよりどころ相談窓口試事業】を始めますが、私たちの存在が寄与できる場面があれば、それは立派な地域貢献であり地域の拠り所ともなり得るため、1つづつ繋がりを築き…少しずつ求められる事業所づくりを目指していきたいと思っております。





食育体験



3月、6月にTMR (The Music Restaurant) さんにご招待いただき、ジャガイモの植え付け、収穫を体験させていただきました。TMRさんは普段、黒大根や紫玉ねぎなどの珍しい野菜を寄贈してくださる団体さんです。



収穫したジャガイモは普段見かけることのない、皮は黒く中は紫の『シャドウクイーン』という品種です。植え方も珍しい「ゴロゴロ植え」という土の上に置いて特別水を上げる必要のない植え方を体験しました。最初はみんなで土をふるって大きな石を取り除く作業。それから、中学生の男の子にはクワで耕してもらったり、耕運機を使わせてもらったりしました。ジャガイモのベッドが出来たら、水をたっぷりあげておくだけ。最後に光が当たらないようにシートを敷いて収穫を待ちます。

収穫の際は、皆で競争してジャガイモ掘り大会をしました。子どもたちは20個とれた、一番大きいのが出てきたと楽しそうに収穫していました。途中、ミミズや蛇などが出て、子ども達たちは大興奮でした。他にも玉ねぎや梅、ブラックベリーなどの収穫も体験させていただき、良い食育活動になりました。



名養協スポーツ大会



8月16日から17日に、名養協主催のスポーツ大会が開催されました。駒方寮からは、小学生男女11名がソフトボール、高校生男子2名が野球で出場しました。台風7号の影響で悪天も予想されましたが、子どもたちののてるてる坊主のおかげか、当日は見事に晴れ、子どもたちもやる気に満ち溢れていました。



ソフトボールは夏休み中に一泊二日で合宿も行き、一生懸命練習に励んできました。当日は大人もチームに入り、オープン参加での出場であったため、1回戦で終了となります。かなりの点差で負けてしまいましたが、練習前よりできることは確実に増えており、子どもたちの成長には驚くばかりです。

野球は今年も3施設の合同チームでの出場です。小学生とは雰囲気異なり、どのチームも凄まじい迫力を感じます。それでも、小学生から応援中に名前を呼ばれて微笑んでおり、可愛らしい一面が見られました。最終日の決勝まで進みましたが、最後は負けてしまいました。練習に励んだ日々や、チームのためにみんなが全力で臨んだことに意味があり、子どもたちにとって大変有意義な大会となりました。



夏の思い出



今年度も夏期恒例行事、海水浴と洞戸キャンプが実施されました。新型コロナウイルスは少しずつ落ち着いていきましたが、これまで通り感染対策には配慮をしながら実施しました。この2大恒例夏期行事の醍醐味は、なんといっても自然を大いに感じることができることです。海水浴では、魚掴みや魚釣り等にも挑戦しました。また、民宿で提供された食事では海の幸を堪能し、キャンプではBBQはもちろん、リクエストで出たメニューを子どもたちと一緒に作りました。多くの子どもが協力し、調理や後片付けをする姿は、誇らしく、大変頼もしくも思いました。夜は、全員で花火を楽しみ、夏の綺麗な夜空も見ることができました。今年度は、雨も少し心配されましたが、天候にも恵まれ、すてきな夏の思い出となりました。



絵画展

今年も名養協主催の福祉施設絵画展が開催されました。題材も画材も自由なので、毎年個性豊かな作品が出来上がります。外出での思い出、学校行事や風景など、心に残っている場面を思い出しながら白い画用紙いっぱい伸び伸びと描く子ども達。絵を描いているあいだもとても賑やかな明るい雰囲気、職員たちもほっこりとした気持ちになりました。

入賞した作品は、7月から8月にかけて展示がされました。展示された自分の絵を鑑賞した子どもからは、「自分の絵が飾られてたんだよ！」と嬉しそうに話していました。

8月には入賞作品の表彰式に出席しました。緊張した面持ちで参加する子ども達でしたが、しっかり表彰台に立ち、賞状を受け取りました。福祉施設絵画展は今年で40回目を迎えました。毎年素敵な絵を描く子ども達に、来年はどんな作品が見られるか、職員も楽しみです。



防災訓練



今年、名古屋市昭和消防署と八事消防団そして、法音寺の協力を得て、起震車による地震体験と、消火器による初期消火訓練体験、災害教材DVDの視聴をしました。

子どもたちは起震車に興味を示しつつも、起震車体験は初めての子が多く、いざとなると尻込みをする子もありましたが、消防士の方に促されて、なんとか体験を終えることができました。「楽しかった」とアトラクション感覚の子どももいました。震度7という強い揺れを実際に感じ、地震に対する恐怖心を感じることができたのではないかと思います。

本当の地震は体験したくはありませんが、地震は高い確率で起こると言われています。このように疑似体験を通して、災害の恐ろしさや自分自身の命の守り方を考えるよい機会になったのではないかと思います。職員も防災意識を高め、備えていかなければと改めて思いなおす日となりました。





いつもありがとうございます

～当施設へ支援をしてくださった方々のご紹介～



【R5.5 月分】

㈱てふや菓子処様、NPO 法人タイガーマスク基金様、南山協会様、HORIZON FARMS 様、名古屋食糧㈱様、㈱オープンハウスディベ
ロップメント様、東海アイスクリーム協会様、中部トーハン会様、㈱チュチュアンナ 1%クラブ様、永田岳志様、コカ・コーラボトラ
ーズジャパン㈱経営戦略本部サスティナビリティ戦略統括部サスティナビリティリレーション1課 品田小百合様、田中尚己様、コスト
コホールセールジャパン㈱中部倉庫店様、株式会社 文創様、NPO 法人 ザ・ミュージックレストラン様、八事山興正寺様、コストコホ
ールセールジャパン㈱守山倉庫店様、真野健二様、ヘアサロンフジタ様

【R5.6 月分】

㈱てふや菓子処様、荒木正和様、㈱オープンハウスディベロップメント様、一般社団法人 親切会中部支部様、鈴木正修様、相澤あつ子
様、名古屋イーストライオンズクラブ様、真野健二様、チーカス㈱様

【R5.7 月分】

南山協会様、㈱オープンハウスディベロップメント様、山口統平法律事務所様、㈱てふや菓子処様、㈱ファーストリテイリング サステ
ィナビリティ部様、㈱名古屋食糧様、荒尾美紀様、社会福祉法人中部善意銀行様、相澤あつ子様、佐々木佳代子様、村上利佳様、山口統
平法律事務所様、㈱トヨタシステムズ 総務部 大橋様、㈱イーグルライン 鈴木敏也様、真野健二様、JA 愛知信連様

【R5.8 月分】

㈱オープンハウスディベロップメント様、(有)てふや菓子処様、㈱名古屋食糧様、奥村美保様、村上利佳様、八事山興正寺様、㈱光陽社
自習ノート事務局様、大乘山 法音寺様、鈴木修徳様、社会福祉法人 中部善意銀行様、南山協会様、相澤あつ子様、金田和久様、真野健
二様

(順不同)



★学校行事予定★

10/27 中学校学校公開日 11/2 中学校音楽会
11/17・18 小学校学芸会 12/22 終業式
1/9 始業式 2/20・21 小学校授業参観

♪施設行事予定♪

10/22 「Let's 歩いてハロウィン」
11/11 感謝祭 12月 クリスマス会 もちつき

《編集後記》

9月に入っても厳しい暑さが続いて
おりますが、子どもたちは元気に過ご
しております。今年の11月には、4年
ぶりの感謝祭が開催されます。是非、お
越してください。



児童養護施設 駒方寮
広報委員

会議室や地域交流スペースの利用を希望される方は施設へご連絡ください。

“地域との共存” “地域への貢献” ができる施設を目指しています。

【発行元】 社会福祉法人 昭徳会 児童養護施設 駒方寮

〒466-0831 名古屋市昭和区花見通二丁目4番地1

Tel (052) 831-5173 Fax (052) 835-5016 <http://www2.syoutokukai.or.jp/komagataryo/>

